



十日町 Tokamachi

市議会だより

市民と議会の
ネットワーク

平成26年7月25日発行

■発行 十日町市議会 十日町市千歳町3丁目3番地 TEL.025-757-3111 FAX.025-757-5999
E-mail: t-gikai@city.tokamachi.lg.jp TEL.025-757-3119 (直通)

■編集 議会だより編集委員会

No.40

十日町すこやかファクトリー完成

JR東日本グループ



アレルギー対応の洋生菓子と
米粉を使った焼菓子などを製造
(妻有大橋、千手発電所隣)

Contents

今号の内容

- ▶ 一般質問(10人) 2~6
- ▶ 補正予算と主な事業 7
- ▶ 常任委員会審査結果・議会傍聴 8
- ▶ 議会日誌・永年勤続表彰 9
- ▶ 会派通信(三矢会) 9
- ▶ 議決結果 10
- ▶ 政務活動費執行状況報告 11
- ▶ 議会レポート 11~12



開業前の試作作業

農政改革と

十日町市農業について



村山 邦一 議員

質問1 「企業が最も活動しやすい国」を目指すとして農政改革で自由化に対応するために、大規模化と生産コスト4割減、法人経営体5万戸を目指す。農

業委員会制度の見直しとJAの解体的な見直しだ。その決め手が農地中間管理機構の創設。そこで①農地中間管理機構で農地関係の制度はどうなるのか。②中山間地の耕作放棄地解消になるのか。③農業委員会の役割。公選制廃止で任命し、農家の声が届くのか。農地の守り手はどうなるのか。④JA改革で市長の認識は。

答弁1

①公的機関が調整役をすることで安心して農地を預けられる、農地の集約化が図られる、農地の出し手や地域に対し、集積面積に応じた協力が交付される等のメリットがあります。②再生不能、利用困難な農地などは取得しないため、機構に申し出れば耕作放棄地が全て解消されるとは考えていません。市の補助事業の原材料支給や小規模土地改良事業により、農道、水路の整備を促し環境の改善を図っています。地域農業の将来構想については各集落、地域で農業者自身が考えることが重要

であり、構想実現に向け、農地中間管理事業が役立つよう取り組みたいと考えます。③職務の遂行には、地域の信頼があり、代表を担保する公平性、公正性、透明性が確保される公選が基本と考えます。市町村における農業委員会の役割は、さらに多様化し複雑化しており、新たな農政改革推進の中で重要な役割を担っていただけると期待しています。④農協が農業者から評価され、農業の成長産業化に資することを目的に検討していると聞いています。JA十日町には地域の農業の中核を担う存在と



稲の生育を見る作況調査

新しい資金調達で地域振興！ 学力と学習意欲の向上！



宮沢 幸子 議員

質問1 クラウドファンディングとは、賛同するプロジェクトに対してインターネットで寄附ができる仕組みです。新たな財源確保及びPR告知宣伝の効果

が期待されます。導入の考えは。
答弁1 市内でも既にこの仕組みを活用して財源確保をしている団体もあります。また、とおかまち応援寄附金も大きな意味ではクラウドファンディングと呼べるものと認識しています。財源確保という視点のほか、PR効果が期待できる専門サイトを利用しますので、メリット、デメリット等、検証を重ねなが

質問2

土曜日における充実した学習機会を提供する土曜授業について伺う。

答弁2

土曜授業は、国や県の動向を注視しながら慎重な検討を要することから、まずは、土曜学習について取り組んでまいります。

土曜学習について、十日町少年少女発明クラブは、当市の理科教育を支える事業の一つであり、土曜日の午前中、十日町中学校を会場に年11回、希望する

小学生が参加していますし、英会話寺子屋塾は、土曜日の午後公民館を会場に年28回、希望する小中学生が参加しています。本年度の成果と課題を検証し、来年度以降これを拡大することと考えています。

質問3

子どもたちの学習意欲と学力向上のためタブレット端末を利用した反転授業に対する考えを伺う。

答弁3

学力の向上に大きな効果が期待されており、幅広い活用が考えられます。いずれは導入していく方向にあると思いますが、教育現場の意見も聞きな



英会話寺子屋塾

がら、急がず先進事例の検証、分析をしたいと思っています。

して農業振興にご尽力いただいております。今後も連携を図り、農業振興、農業者の経済的、社会的地位の向上を目指し取り組みたいと考えます。

「医療・介護総合推進法」の 改正でどのようなになるのか



安保 寿 隆 議員

質問 1 ①介護保険の改正によって要支援1・2の通所・訪問介護のサービスが市町村の事業に移された。厚労省は経費節減を強調しているが、来年の6期

計画では、県下トップクラスのサービスの提供や専門職員の育成、介護現場で働く人たちの労働環境をより良くするという考えはないか。②介護施設職員の内訳はどうか。

皆さんの数も足りませんので、しっかりと確保できるようにも工夫していかねければと思っています。

②昨年の調査で職員総数は1,929人、うち訪問介護員等を含めた介護職員は1,172人で約180人が臨時、パートです。介護福祉士は336人です。

質問 2 診療報酬の改正によって、「地域包括ケア病床」が導入され、入院期間上限は60日とされる。また特養ホームは介護度3以上の入所とされ、在宅介護が増えるが対応はどうか。

質問 3 地域包括ケアシステムの実現に今後何が課題となるか。

- 答弁 2** 在宅で頑張っている皆
- 答弁 3** 医師、訪問看護師といった重要な専門職の不足が挙げられます。また、関係機関の情報の共有化や連携がスムーズに行われることが重要です。市では、医師の負担軽減、関係機関の連携に向けた体制づくりのために、今年度、来年度の2カ年
- * 要支援者1, 2の訪問介護、通所介護を介護保険からはずし、市町村事業に移す。
 - * 特養ホームの入所は原則介護度3以上とする。
 - * 一定所得者（所得160万円以上、単身年金収入のみ280万円以上）の利用料を2割負担とする。
 - * 補足給付の打ち切り条件を拡大する。
 - * 民間病院も含め病床の機能分化を厳格にし、都道府県はそれをもとに地域医療構想を策定する。

「医療・介護総合推進法案」の主な内容

安保議員作成

合併効果の検証と これからのまちづくりについて



羽 鳥 輝 子 議員

質問 1 合併後、一体感の醸成を目指し、地域振興に力を入れ、行財政改革、コスト削減に取り組んできましたが、急激な人口減少や高齢化、過疎化が進む中、

今後のまちづくりや行政サービス等に課題が出ています。10年の歩みを振り返り、まちづくりの活性化に向けて、評価や課題などを認識し、取組みを進めていく必要があると考えます。どのような対応を進めていくのか伺う。

答弁 1 合併以降、新市としての一体感の醸成を図りつつ、た

び重なる災害の経験を踏まえ、

持続可能で、かつ多様な地域性を生かしたまちづくりを進めてきました。新十日町市は、それぞれ個性のある5市町村が一緒に誕生しました。長期的に捉えますと、それぞれの個性を生かしながらも基本的な部分では全ての地域、市民がベクトルを合わせることが大変重要と考えています。

住みよいまちとして20年後、30年後に引き継いでいくために、大きな方向性を示す必要があると考え、現在十日町市まちづくり基本条例の制定に向け、取り組んでいます。その中でまちづく

さんの本當にご苦労されているのはよく伺います。そういったところへも配慮し、在宅介護の方向性をしっかりとさせていかないと早晩厳しい状況になると思っています。



自治基本条例審議会で諮問を受けている様子

いの信頼とそれぞれの立場を尊重する中、持続可能なまちづくりを進めたいと考えています。

十二峠新トンネル早期開削と 建設労働者の処遇改善を！



鈴木和雄 議員

質問1 十二峠道路の年間を通して安全に通ることができる、抜本的道路整備の考えは。

答弁1 通常の災害復旧とは異なり、原形復旧に加えて公共土

本施設の防災機能の強化、向上を行うことができる、災害対策等緊急事業推進費で工事を進めると県から聞いています。道路の安全確保を図った上で、一日も早い交通開放と復旧工事の完成に向けて、引き続き協力したいと考えています。

質問2 十二峠新トンネル開削は関係圏域の長年の悲願です。開削に向けた見通しと新トンネルの必要性を伺いたい。

答弁2 今回の土砂災害で、県民の皆さまには改めて新トンネルの必要性を認識していただいたと思います。現段階では新トンネル開削の具体的見通しには言及できませんが、今回の災害を踏まえ、新トンネル開削の事業化に向けた取組みを強化したいと思っています。

質問3 国交省は公共工事設計労務単価を大幅に引き上げましたが、賃金実態にどのように反映されているのか。

答弁3 この引上げ等の取組みにより、技能労働者の賃金水準の確保に一定程度の成果を上げつつあることから、周知徹底を図ることが重要であるとしていきます。当市では、適正な賃金水準の確保を図るために、適正価格での契約に努め、建設業界への周知を図っていきたいと考えています。

質問4 法定福利費は現行の入札制度では、競争原理の下に置かれている。別枠明示で入札に付すことと、適正に積算されていることが必要ではないか。

答弁4 国交省から見積もり時に法定福利費の内訳を明示した見積書を下請けから元請けへ提出するようにと要請されています。このように法定福利費が末端まで届くような仕組みづくりも行われているところです。



国道353号の土砂撤去作業

十日町市農業の 将来展望について



飯塚茂夫 議員

質問1 担い手確保と農村集落の維持について。

答弁1 地域おこし協力隊など市外からの人材確保のほか、国の青年就農給付金事業、県の就

農支援資金事業などを活用しながら、新規就農者の確保、育成に取り組んでいます。加えて今年度からは広く農業に意欲のある方に対し、市独自の支援をすることとしており、一人でも多くの新規就農者の確保、育成に努めたいと考えています。この新規就農者の育成、確保ができれば、担い手の育成、集落営農が可能になり、中山間地域の農

業、集落の維持につながっていくと期待しています。

質問2 米の直接支払交付金が今年から半減され、5年後に廃止になるが過剰作付という状況にならないか。

答弁2 今までは国の政策で生産調整や需給調整を行ってきましたが、今後、農業者や生産団体、農業者団体が自ら需給予測に応じて生産量を決めていく制度に移行されますので、過剰作付の可能性はあります。

基本的には生産者の経営判断と言うこととなりますが、需給調整は、米価の安定価格を維持し農家収入の確保に必要なことだと思っております。市としては引き続き需給調整の推進に関係団体と連携して取組みます。

質問3 飼料用米の導入は十日町市の中山間地で所得確保が可能なのか。

答弁3 国の交付金を最大限に受けるには、多収性品種の導入と栽培技術の習得が必要です。今年度JA十日町で市内2カ所、平場、中山間地で飼料用米の多収性品種の実証圃を設けて検証を行っています。この結果を踏まえ、中山間地でも所得の拡大が本当に可能なのか、しっかり



中山間地での田植えの様子

検討したいと考えます。

十日町市のひきこもり対策と 川西高校の位置付けについて



高橋 俊一 議員

質問1 現在計画中の高齢者安心サービスの構想を伺う。

答弁1 在宅生活上で困りごとがある高齢者に、ボランティアで買い物や調理のお手伝い、玄

関前の除雪等を行ってもらうことにより、住みなれた自宅や地域で少しでも安心、安全に過ごしていただくというものです。労力を提供するボランティアの方にはポイントを付与し、それを使って地元の商店街で買物や食事をしていただくなど、地域社会の中で有効に活用していただくとするものです。事業開始は10月を予定しています。

総合産業としての観光政策



太田 祐子 議員

質問1 富士山の世界文化遺産、和食の無形文化遺産、東京オリンピック開催決定と世界中が日本を注目しています。地域内に在する多様な資源をブランド化

へと高め、総合産業と位置付けた観光政策は喫緊の課題です。若者を地方へ呼び込む、呼び戻すことを目指し、次の質問を行います。①当市の観光の現状と課題。②オリンピック聖火台モニュメントの要望活動の手応えと推進。③十日町流おもてなしの醸成。④第6回大地の芸術祭の具体的規模と内容。

答弁1 ①温泉や祭り、イベン

質問2 本年4月に福祉課、教育委員会、社会福祉協議会、就労支援施設職員、市議会議員、

「フオルトネット」のメンバーで藤里町のひきこもり対策施設を視察に行ったことから、ようやく端緒についた市のひきこもり対策の今後の具体案を伺う。

答弁2 中学卒業後はなかなか細やかな手が差し伸べられなかったのは事実です。市では就学期、義務教育期間の前後、乳幼児から就労に至るまでの継続的、総合的な支援を実施する必要がありますと強く感じています。相談できる場が必要という声が多く

ト等のイメージアップと大地の芸術祭の里のブランドイメージの確立を目指し、それぞれの発信力を高めています。今後は当市だけでなく、広域的な情報発信に力を入れ、知名度を高めるとともに観光客の多様なニーズに応えられる受け皿をつくっていきたいと考えます。②実現は容易ではないと思いますが、この運動を十日町市全体の運動として何とか位置付けて機運の盛り上げを後押しいただけるような動きになればありがたいと思っています。③地域の皆さんの本当にありがたいおもてなしな

あり、市民福祉部、教育委員会と現在協議を進めています。さまざまな団体の皆さまとも連携しながら対応策を考え、まとめていきたいと思っています。

質問3 市は、県の示す平成28年度の川西高校募集停止案を容認するとの見解ですが、現在の川西高校の位置付けを伺う。

答弁3 川西高校を支えている地域の皆さまの心情もよくわかりますし、県の方針も今後のあり方にとっては重要だと認識しています。統合は寂しいですが、校舎や小出特別支援学校川西分校は残ります。今後も地域の学

ど、これまでも来訪者の皆さまから大変なご好評をいただいています。今年度は、おもてなしのソフト事業にいくつか挑戦しますが、観光ボランティアガイドの強化や市民参加のおもてなしにつなげたいと思っており、地域一体となった機運の醸成がされればと考えています。④事業予算は前回並みを予定していますが、さまざまな機関、団体と連携、工夫を重ねながら近い将来には世界の越後妻有を目指す意気込みを持って向かっている所存です。現代アートでの地域おこしは全国各地で展開され

校として大切にしていただけると大変ありがたいと思います。



ひきこもり対策施設の作業風景（秋田県藤里町）

るようになってきましたが、世界のトップランナーとして新たな取組みにも挑戦し続けたいと思います。



来年開催の「大地の芸術祭 企画概要発表会」

住宅関連制度融資及び補助金等の要件の見直しを求む



小野嶋哲雄 議員

質問1 地域の経済状況は依然厳しい状況にあり、勤労者の所得アップにつながる状況ではありません。制度融資はその時代の経済環境や市民ニーズに応え

継続実施されてきましたが、市民に積極的に活用していただくために利用者の現状も含め、要件の見直しと諮問委員会の設置についてお考えを伺う。

また、住宅関連補助金は地域経済の活性化と政策誘導を目的に実施されていますが、利用者から補助要件の緩和を求める声があります。要件の緩和についての考えを伺う。

答弁1 制度融資は通常より有利な融資条件を設定して、市民企業の皆さまの資金調達を支援するというもので、その観点から、本年度の企業向け制度融資については、変動金利を選択可能とするなどの見直しを貸付金融機関との協議の上行ったところ

です。市民向けの制度融資につきましても、制度ごとに見直しを検討しています。また、制度融資は、資金の一部を預託する市と実際に貸し付けを行う金融機関の合意があつて成立するものですので諮問機関の設置については考えていません。

住宅関連の補助制度について、住宅リフォーム補助制度では、今年度、屋根の克雪化及び安全装置の設置、耐震改修、バリアフリー化、省エネ化に資するリフォームのみを補助対象とするよう条件の見直しを行っています。

また、克雪すまいづくり支援事業補助制度では、中心市街地活性化区域内において融雪式や耐雪式を整備される場合には、補助金額を最大22万円の上乗せを行うなど、制度の見直しは随時行っており、今後必要に応じて見直し等を図ってまいります。

と考えています。

事業名	H23	H24	H25
克雪すまいづくり支援補助事業	82	111	116
住宅リフォーム補助事業	397	545	314
勤労者住宅建設資金貸付	0	0	0
克雪住宅づくり資金貸付	1	0	0
排水設備等設置資金貸付	2	2	0

(単位: 件)

住宅関連事業補助・貸付の申請件数

十高の進学状況が厳しい再生に向けた原因と対策は



藤巻 誠 議員

質問1 市の教育行政について①十日町高校は11年連続で定員割れを起こし、入学偏差値は50を大きく割り込み、進学状況は目を覆いたくなるほど。地域教

育の観点から原因と対策をどう考えているか。②津南中等教育学校の中途退学率が15%と高い。原因は何か。問題はないのか。③小中一貫教育の試行期間が終わった。評価は。今後は、幼保・小中一貫教育を明確に打ち出すべきではないか。④少子化が急速に進んでいる。学校統合等の再編に具体的にどう取り組むのか。

答弁1 ①個々の県立高等学校の学力や進学状況の原因と対策については、お答えいたしかねます。②県立の津南中等学校の中途退学については個々の事情があるわけで、そのことについてもお答えしかねるところです。③子供たちの置かれている生活環境を考えると、幼児期からの一貫した教育システムは効果があります。しかし、全ての中学校区で幼児期からの一貫教育を実施することは難しいと考えています。幼保との連携教育を少しずつ深めている中学校区もありますが、現在進めている

小中一貫教育を定着させ、充実させていくこと、さらに可能な部分で幼保との連携を深めていくことが肝要と考えています。④22年に十日町市における望ましい小中学校のあり方に関する方針を作成し、地域の理解を得ながら統合、再編を行ってきました。25年度まで検討するとしていた学校のうち4校は昨年度までに統合が終わり、3校については引き続き検討いただいています。30年度までに検討するとしている4校の地域での検討は、実質的にはこれからという状況です。方針策定時と状況は

大きく変わりませんので、これに基づき保護者、地域のご理解を得ながら統合、再編を進めていく考えです。



小中一貫教育推進大会 (6/22 下条中)

一般会計補正予算と主な事業

6月定例会

《補正第1号》

人事異動に伴う人件費の調整のほか、各種補助事業の追加や雪害による災害復旧事業費などの補正を行いました。

○中越大震災復興10年記念事業
(企画政策課)
・NHK「のど自慢」の誘致経費
640万円

○にいがたで「暮らす・働く」応援プロジェクトモデル事業
(企画政策課)
・定住人口の拡大等を目指すインターネットシブ事業経費
190万円

○産業創造基金積立金(中心市街地活性化推進室)
4,728万円

○在宅医療連携事業(福祉課)
・24時間365日の在宅医療と介護の連携体制を構築するためのモデル事業経費
2,194万円

○私立保育所施設改修支援事業(子育て支援課)
・慈光保育園の増改築補助金の追加
2,041万円

○がん検診推進事業(健康支援課)
・働く世代の女性支援のためのがん検診推進事業
415万円



がん検診前の事前指導

○畑作振興事業(松代支所農林建設課)
・えだまめ生産拡大推進事業補助金
710万円



えだまめ栽培ほ場

○畜産振興対策事業(農林課)
・豚流行性下痢対策経費
205万円

○中心市街地活性化推進事業(中心市街地活性化推進室)
・中越大震災復興基金の精算金
1,053万円

○中里地域観光振興費(中里支所地域振興課)
・ピクニックコンサート補助金の追加
571万円



昨年のピクニックコンサート

○大地の芸術祭運営事業(観光交流課)
・棚田保全プロジェクト補助金ほか
7,026万円

○十日町地域大地の芸術祭作品関連費(観光交流課)
・大地の芸術祭廃校舎・空家再活用事業の追加
800万円

○キナーレ誘客促進事業(観光交流課)
・アート企画展関連経費の追加
800万円

○越後妻有雪花火事業(観光交流課)
・雪アート花火事業実施委託料の追加
2,000万円



越後妻有 雪花火(3/1)

○現年発生農業施設災害復旧事業(松代支所農林建設課)
・農道 蒲生・池尻・松代線(松代地内)災害復旧ほか1件
1億1,303万円

○現年発生林道施設災害復旧事業(松代支所農林建設課)
・林道上鰯池線(上鰯池地内)災害復旧ほか4件
550万円

常任委員会

TOKAMACHI

審査結果

提出された議案のうち、それぞれの常任委員会に付託され審査した議案と、その結果は次のとおりです。

6月定例会

総務文教常任委員会

◆十日町市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定

◆十日町市税条例の一部を改正する条例制定

いずれも原案どおり可決しました。



総務文教常任委員会 (6/19)

◆30人以下学級の実現、義務教育費国庫負担制度の堅持をはじめとする教育予算の充実に求める請願

採択となりました。

◆集团的自衛権をめぐる憲法解釈に関する意見書提出に関する請願

不採択となりました。

産業建設常任委員会

◆十日町市上水道給水条例の一部を改正する条例制定

◆十日町市簡易水道及び小規模水道給水条例の一部を改正する条例制定

いずれも原案どおり可決しました。

◆公正な処遇の下で安心して働ける労働者保護ルールに関する請願

不採択となりました。

厚生環境常任委員会

◆十日町市高齢者憩いの家条例の一部を改正する条例制定

◆十日町市立保育所条例の一部を改正する条例制定

いずれも原案どおり可決しました。



厚生環境常任委員会 (6/19)

◆「手話言語法(仮称)」制定を求める意見書の提出を求める請願

採択となりました。

議会傍聴

▼市民の声(十日町 46歳男性)

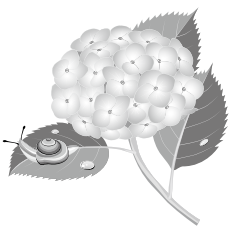
十日町市聴覚障害者福祉協会3名、十日町手話サークル2名で初めて市議会を傍聴しました。議場は想像していたより、明るく清潔感がありました。

議員の方が手話言語法の制定についての意見書の説明をされ、それに対して議員皆さんの賛成をいただき、私たちはすごくうれしく感動しました。

議会において、私たちの請願が採択され、これからのわれわれ聴覚障がい者が安心して生活できる事を願っております。

そして、議員の方々に対してお礼を申し上げます。

また、市議会の傍聴に参加することができ、ありがとうございます。良い勉強になりました。



傍聴においでください

- 9月定例会は、9月中旬に予定しています。詳しくは議会事務局にご照会ください。
 - 議場は市役所3階です。入口で住所・氏名を記入するだけで傍聴できます。
- お気軽にお出かけください。



川治小学校児童の見学の様子

一般質問(6月18日)に川治小学校の3年生14名の皆さんが見学に来られました。

〔4月〕

7日・議会改革特別委員会
14日・議会だより編集委員会
16日・総務文教常任委員会
23日・産業建設常任委員会
28日・議会運営委員会

〔5月〕

19日・総務文教常任委員会管内
視察

〔6月〕

20日・厚生環境常任委員会管内
視察
29日・信濃川・清津川対策特別
委員会管内視察
30日・総務文教常任委員会
6日・議会運営委員会
11日・総務文教常任委員会
13日・20日
・平成26年第2回定例会
13日・本会議（諸般の報告・議
案審議）
16日・議会だより編集委員会
16日・18日
・本会議（一般質問）
18日・十日町・松代病院特別委
員会
19日・総務文教常任委員会
・産業建設常任委員会
・厚生環境常任委員会
・議会運営委員会
20日・本会議（各委員長報告・
追加議案審議）
24日・議会改革特別委員会

永年勤続表彰

去る4月24日に開催された第89回北信越
市議会議長会定期総会及び5月28日に開催
された第90回全国市議会議長会定期総会に
おいて、永年勤続表彰を受けました。

◎在職15年以上表彰

庭野茂美 議員

◎在職10年以上表彰

武輝 寿紀 幸弘 議員
嶋鳥保藤 沢林 議員
小羽安近 宮小 議員



三矢会

十日町市、川西町、中里村、
松代町、松之山町の5市町村に
よる新設合併から10年が経過し、
合併効果の検証時期に来ている
のではないだろうか。

市民の皆さんの目線に立つて
見たとき、合併というこの大事
業の効果と言えるものを、どこ
かに感じてもらえているのだろ
うか。

合併の節約効果を考えてみた。
5人いた首長が1人でよくな
ったこと、5市町村合わせて76
人いた議員は26人に、何より合
併前には約1,000人だった
職員が今は500人体制になっ
た。

しかし、新十日町市は本当に
これで良いのだろうか。

地域振興会やボランティア活
動、職員的大幅削減などが結果
として、市民に負担を与えてい
ないだろうか。

十日町市全域が、一緒に活性
化できればと願って、この考え
のもとに集まった議員で会派を
結成しました。

会派名（三矢会）は、毛利元
就の「三本の矢の教え」に倣い、
三人で結束して課題解決に当た
りたいと考えています。

合併によって5市町村が一本
の矢となり、中心地だけでなく
周辺地域も等しく発展してこそ
合併効果の市民理解を得ること
ができると思います、この大それた
目標に向かって、私たち三矢会
はこれからも頑張ります。



おきぐんあまちよう
島根県隠岐郡海士町の視察

小嶋武夫（川西）
鈴木一郎（中里）
村山達也（松代）

6月定例会議決結果

議案番号等		件 名	採決状況	議決結果
市長提出議案	49	専決処分の承認（十日町市税条例の一部を改正する条例）	全員賛成	承認
	50	専決処分の承認（十日町市都市計画税条例の一部を改正する条例）		
	51	専決処分の承認（十日町市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）		
	52	専決処分の承認（十日町市老人医療費助成に関する条例の一部を改正する条例）		
	53	専決処分の承認（平成25年度十日町市一般会計補正予算（第9号））		
	54	専決処分の承認（平成26年度十日町市簡易水道事業特別会計補正予算（第1号））		
	55	損害賠償の額の変更		原案可決
	56	十日町市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定		
	57	十日町市税条例の一部を改正する条例制定		
	58	十日町市上水道給水条例の一部を改正する条例制定		
	59	十日町市簡易水道及び小規模水道給水条例の一部を改正する条例制定		
	60	十日町市高齢者憩いの家条例の一部を改正する条例制定		
	61	十日町市立保育所条例の一部を改正する条例制定		
	62	平成26年度十日町市一般会計補正予算（第1号）	賛成多数	原案可決
	63	平成26年度十日町市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	全員賛成	原案可決
	64	平成26年度十日町市国民健康保険診療所特別会計補正予算（第1号）		
	65	平成26年度十日町市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）		
	66	平成26年度十日町市介護保険特別会計補正予算（第1号）		
	67	平成26年度十日町市簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）		
	68	平成26年度十日町市下水道事業特別会計補正予算（第1号）		
	69	平成26年度十日町市松之山温泉配湯事業特別会計補正予算（第1号）		
	70	平成26年度十日町市水道事業会計補正予算（第1号）		
	71	工事請負契約の締結〔十日町市デジタル移動系防災行政無線整備工事〕		
	72	工事請負契約の締結〔水沢小学校 特別教室棟改築工事（建築本体）〕		
	73	工事請負契約の締結〔中条小学校 教室棟改築工事（建築本体）〕		
	74	工事請負契約の締結〔川西中学校 教室棟改築工事（建築本体）〕		
	75	工事請負契約の締結〔南中学校 校舎耐震補強・大規模改修工事（建築本体）〕		
議会提出議案	3	農業委員会委員の推薦〔坂下 可奈子 氏〕		
	4	30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書		
	5	手話言語法（仮称）の制定を求める意見書		
	6	議員派遣		
請願	1	「手話言語法（仮称）」制定を求める意見書の提出を求める請願		採 択
	2	30人以下学級の実現、義務教育費国庫負担制度の堅持をはじめとする教育予算の充実を求める請願		
	3	公正な処遇の下で安心して働ける労働者保護ルールに関する請願	賛成少数	不 採 択
	4	集团的自衛権をめぐる憲法解釈に関する意見書提出に関する請願		

賛否等の状況

賛否が分かれた議案のうち、起立採決等により個々の賛否が明らかな議案について掲載。
 (○：賛成、×：反対、－：欠席) ※議長は議決に加わらず。

議案番号等	議決結果	賛成	反対	政策クラブ 自由の風										日本共産党 十日町市議団			ふじの会			三矢会			市民クラブ 凜			無会派		
				近藤紀夫	羽鳥輝子	庭野茂美	遠田延雄	吉村重敏	宮沢幸子	小林弘樹	藤巻誠	高橋俊一	福崎哲也	大嶋由紀子	村山邦一	安倍寿隆	鈴木和雄	飯塚茂夫	仲嶋英雄	庭野政義	小嶋武夫	鈴木一郎	村山達也	太田祐子	小林均	小野嶋哲雄	涌井充	高橋洋一
62	原案可決	23	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
請3	不採択	5	20	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	○	×	○	×	×	※	
請4	不採択	5	20	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	※	

H25年度 政務活動費執行状況報告

政務活動費は、

十日町市議会議員の調査研究に必要な経費の一部として、申請のあった会派に対し市から交付されます。

会派に所属する議員1人につき年額15万円を、人数分一括で会派に交付し、残金が生じた場合は市へ返還されます。

平成25年度（平成25年6月～平成26年3月交付分を掲載）

単位：円

会派	政策クラブ 自由の風 12人	日本共産党 十日町市議団 3人	不羈の会 3人	三矢会 3人	市民クラブ 凛 3人	絆 1人	合 計
当 初 交 付 金 額	1,800,000	450,000	450,000	450,000	450,000	150,000	3,750,000
支 出	研究研修費	375,840	5,500	44,005	34,348	82,320	623,973
	調 査 旅 費	1,413,710	124,560	373,286	415,652	141,540	2,468,748
	資 料 費	10,450	52,160	0	0	25,880	88,490
	事 務 費	0	45,247	0	0	0	45,247
	その他経費	0	0	0	0	0	0
	合 計	1,800,000	227,467	417,291	450,000	249,740	3,226,458
残 額（返還額）	0	222,533	32,709	0	200,260	68,040	523,542

※平成25年度政務活動費の申請がなかった議員（1人）には、政務活動費が交付されませんでした。

【政務活動費使途基準】

項 目	内 容
研 究 研 修 費	会派が研究会及び研修会を開催するために必要な経費または会派に所属する議員が他の団体の開催する研究会及び研修会に参加するために要する経費（会場費、講師謝金、出席者負担金、会費、茶菓代、交通費、旅費、宿泊費、器具借上料等）
調 査 旅 費	会派の行う調査研究活動のために必要な先進地調査または現地調査に要する経費（交通費、旅費、宿泊費等）
資 料 費	会派の行う調査研究活動のために必要な図書、資料等の購入及び印刷に要する経費（参考図書、新聞・雑誌、定期刊行物等の購入及び調査研究資料の印刷等）
事 務 費	会派の行う調査研究活動のために必要な消耗品の購入、通信等に要する経費（事務用消耗品購入、郵便料等）
そ の 他 経 費	上記以外の経費で会派の行う調査研究活動に必要な経費

議会レポート

REPORT 1 産業建設常任 委員会活動報告

■平成25年度管外視察

平成25年10月16日に胎内市を訪ね、漢方薬の甘草かんぞうの試験栽培地を見学し、地域活性化の取組みの説明を受けました。新潟市南区ではケーコン株式会社研究センターを訪ね、家畜糞を短時間で肥料化する機械の実証実験設備を見学調査しました。17日には群馬県渋川市の群馬県森林組合連合会「渋川県産材センター」を訪ね、林業再生、森林再生について調査研究しました。間伐材の利用に成功し、さらにはバイオマス発電も計画中とのこと。

■平成26年4月23日 委員会開催

○飯山線活性化
○十日町市まちなかコンセプトブックについて

○堆肥化施設整備事業の経過
それぞれ所管課の説明がありました。

■平成26年7月8日 管内視察

○十日町すこやかファクトリー
市とJR東日本との共生策事業の菓子工場。妻有大橋西側に建物が完成し、今、試験生産中です。
卵、小麦、牛乳等の不使用ケーキや蒸しパンも生産することです。

○国道353号土砂崩れ
現場は清津峡入口に近く、崩土撤去は夏休み前の通行止め一部解除を目指して懸命に進められていました。
○NPO法人にぎわい
中心市街地整備推進機構に指定されているNPO法人にぎわいを訪ねました。まちづくり活動にかかわってきた市民が中心となって活動の場と情報の提供、団体活動支援をしています。

「十日町を日本一楽しいまちにしよう」を大目標に掲げています。

議会改革 特別委員会報告

6月24日に開催した議会改革特別委員会では、本年度から実施することになった議員活動実態調査の調査事項についてと、今後特別委員会で議論を重ねていく項目についての審議を行いました。

議員活動実態調査の項目については、当初の44区分に、「広報活動」を新たに加えることを確認し、その結果、調査項目は

全部で45項目となりました。

次に、今後の特別委員会で議論を重ねていくこととする項目について審議を行いました。この件については、当特別委員会を設置して以来、上越市や柏崎市など、議会改革の先進地視察を行うとともに、各会派から意見をいただきながら当特別委員会で検討しました。

当特別委員会として、優先順位を決めて審議していくべく、各会派での協議を経て、優先順位を付けて出された項目を、正副委員長で取りまとめをしたも

のが提示され、委員間で意見交換を行いました。

この結果、①議員活動実態調査、②政務活動費、③議会活動の活性化(常任委員会・全員協議会等会議のあり方)の3点を今後の特別委員会において議論していくことを確認しました。

また、今回の特別委員会では、議員活動実態調査、政務活動費及び会議等のあり方の3点を議題とすることとし、委員においても独自調査を行いながら、他市の事例等を踏まえて議論していくことを確認しました。

REPORT 3

信濃川・清津川対策 特別委員会報告

5月29日にJ R東日本信濃川発電所関連の現地視察を行いました。

この現地調査の対象は、平成22年3月に、発電取水総合対策十日町市民協議会(会長 十日町市長)からJ R東日本清野社長に出された要望項目の現在の進捗状況を把握するために行ったものです。

13か所を現地調査

現地調査では、J R東日本信濃川発電所業務改善事務所の佐

坂所長をはじめ関係職員が同行し、具体的な調査箇所は、なかさと清津スキー場内の信濃川ふるさと森づくり会場、越後田沢駅と下条駅に設置された大地の芸術祭の作品、宮中ダムの魚道と黄桜の丘公園の整備状況、十日町駅のリニューアル、西浅河原揚水機場の灌がい施設、食品工場「十日町すこやかファクトリー」、小根岸橋橋梁新設箇所など13か所です。

その後、ソフト事業の取り組み状況なども併せて協議しました。その中で、「試験放流の5年目として今後どう取り組むのか」「5年で全市民の信頼回復を図ることはできないが、J Rとの共生策の取組み状況を市民に周知する努力も必要なのではないか」「信濃川の流域環境を守るには最終的には水量が問題となる」「宮中ダムの老朽化が心配だ、大丈夫なのか」などの意見が出されました。

これに対しJ R側からは、「今回の質疑を真摯に受け止め、誠意を持って対応していく」との回答がありました。

本委員会では、今後も、市民協議会からの要望事項などについて議論を行い、進捗状況を把握して行くことにしています。

あとがき

市政は積極的で、各方向に施策を展開している。小中一貫教育、子育て支援、定住者支援、道路除雪費見直し、文化ホール、中心市街地活性化、小中学校改築、消防庁舎新築、新十日町病院、J R東日本共生策、大地の芸術祭事業など。

国県への要望も多岐にして活発だが、中でも東京オリンピック聖火台要望に注目が集まっている。内外から怒涛の人の流れが、実現するかもしれない。和食と富士山が世界遺産。日本文化を国内は温古知新、世界へ交流発信する時代が来た。富岡製糸場は世界遺産に登録されて、11月末まで大型バス駐車場が予約で満杯という。「十日町」と「笹山遺跡」の知名度が「平泉や諏訪」、「高松塚古墳や吉野ケ里遺跡」に並ぶかもしれない。議員も議会も好機を逃すまいと行政と協同している。十日町市繁栄を目指して両輪となっている。土器を作った縄文人や、芸術と評価した岡本太郎、発掘から国宝指定に至る関係者の協力と努力を忘れまい。

(吉村重敏)

◆ 訃報

庭野茂美議員 逝去



7月14日午後10時45分、かねてより病氣加療中のところ薬石の効なく逝去されました。(満

53歳)

庭野議員は、平成7年5月に旧十日町市の議員として初当選以来、市町村合併後も含め、通算17年(5期目)を務められました。

合併後は、厚生環境常任委員長、産業建設常任委員会副委員長、議会選出の監査委員を務められるなど活躍されました。

また、長年にわたり市議会議員を歴任された功績に対し、北信越市議会議長会及び全国市議会議長会から、平成20年に10年表彰を、平成26年に15年表彰を受けられています。

謹んでご冥福をお祈りいたします。